

アジア太平洋地域地殻変動監視経費

(概算要求額 21百万円)

【背景・目的】

PCGIAP(アジア太平洋GIS基盤常置委員会)の仲介・調整のもとでアジア太平洋地域測地観測プロジェクトに参加し、各国と連携してGPS観測を実施し、プレート運動の監視、地震、火山噴火等に伴う地殻変動の検出、地球ダイナミクスの理解に貢献

アジア太平洋地域でのGPS観測網確立及び地殻変動の監視並びに基準座標系の構築のため、GPS観測の果たす役割は大きく、さらにはアジア太平洋地域における安全の確保ために必要

【施策の概要】

クック諸島(COOK)、タラワ(TARW)について、安定したデータ取得ができるように機器を更新する宇宙測地技術等を用いて、アジア太平洋地域を網羅する観測ネットワークを各国協働で構築し、GPS観測データ等の統合解析を実施

【効果】

各国で実施されるGPS観測のデータを、一元的に収集・管理し、統合解析結果とともにWebを通じて公開することにより、アジア太平洋地域全体の防災・減災に寄与

